

第1回 Learning Class

テーマ:「学びを促進する演習と場作り」1

2017年4月26日

注)このLearningBarのスライドデザインを使用していただいて構いません。以下の内容を含むスライドを入れていただくようお願いします。

タイトル・テーマ、Learning Class Purpose、Leaning Class Process、 導入のワーク、コンテンツスライド(2枚~)、考えるワーク、振り返り

Learning Class Purpose、Leaning Class Process、振り返り のスライドは、本文もそのまま使用してください。



Learning Class Purpose

ここに集まった全員が学ぶことが目的です。

学びとは、何かに気づく、感じることです。

知らなかった知識や情報にふれて新たな気づきを得たり、異なるバックグラウンドを持った人と違いを感じたり、その場で自分の中に、生みだされるものです。

この機会を価値ある時間にしてください。



Learning Class Process

約90分間、ラーニング・ディレクターが進行役となって、次の4つのステップで進めます。

- ①(チェックイン)導入ワーク
- ②本日のテーマについて
- ③考えるワーク
- ④振り返り

Work 導入ワーク

ラーニングクラスとは、決められたテーマ(お題)に沿って、 参加者全員で考え、話し合い、お互いに学ぶ場です。

ラーニング・ディレクター(LD)は、テーマをリードし参加メンバーを参画させ、学びの場を作る人です。

あなたは、どのようテーマで、LDをやってみたいですか?

そこから、あなた自身は何を学びたいですか?



『サピエンス全史』:ユヴァル・ノア・ハラリ(2016)、河出書房新社

サピエンスの歴史の道筋、3つの重要な革命によって決まりました。本書ではこれらの革命が、人類をはじめ、この地上の生きとし生けるものにどのような影響を与えてきたのかという物語を綴られている。

- ・ 約7万年前に歴史を始動させた認知革命
- ・ 約1万2千年前に歴史の流れを加速させた農業革命
- そしてわずか500年前に始まった科学革命

認知革命とは

まったく存在しないものについての情報を伝達する能力。

見たことも、触れたことも、匂いを嗅いだこともない、ありとあらゆる種類の存在について話し理解する能力があるのは、私たちの知るかぎりではサピエンスだけ。伝説や神話、神々、宗教は、認知革命に伴って初めて現れた。



学習プロセスとは

認知のメカニズム

| プロセス | ラーニング・メソッド | ツールの例 |
|----------|--|---|
| Discover | 問題提起やテーマへの導く | 全体質問、導入演習、他者観察、インパクトのある映像、アレゴリー(寓話)など |
| Know | 新しい考え方や枠組みを知る | 理解(分かる)、言葉の正 しい定義、モデル、概念 図など |
| Show | その考え方や枠組みを、従来の知識と繋げたり、イメージさせたりして、頭に具現化する | 事例紹介、観察、経験談、 メタファ、アレゴリーなど |
| Do | 強化するための行動、シュミレーション、演習したり、体験したりする | ケース演習、自分の経験 に当てはめる、ロールプレ イング、モデルの観察など |
| Feedback | その結果をフィードバック(振り返り) する | 確認の質問、掘り下げる質問、アセスメントなど |



学習プロセス 事例1

<u>対象</u>

インストラクター候補

学習テーマ

インストラクターのマインドセットとスキルモデルの理解

| プロセス | インストラクション | ツール |
|----------|---|------------|
| Discover | 優秀なインストラクターの要素を考える | ワークシート |
| Know | 自転車のメタファーで説明する(後輪、前輪、ブレーキ) | 図(書き込み) |
| Show | 自転車のメタファーを使い、事例を紹介、参加者にイ メージさせる | ディスカッション |
| Do | 現状をアセスメントさせる、メンバー内でディスカッショ ン | アセスメントシート |
| Feedback | 現状のアセスメントで気づいた点を話させ、理解しているか把握し、必要に応じてコメントする | フィードバックシート |



学習プロセス 事例2

<u>対象</u>

調査の企画をする方

学習テーマ

調査の計画する際の、基本構成要素の理解

| プロセス | インストラクション | ツール |
|----------|---|-------|
| Discover | あるケースでの調査の企画を考えさせる、グループ ワークと発表 | 演習1 |
| Know | 調査の3つの要素(目的・対象・方法論)と方法論(観察・インタビュー・アンケート)を説明する | モデル |
| Show | 先ほどのケースを使い、2つのモデルに当てはめてみ る | 演習2 |
| Do | 調査計画書の作成を指導し、わかる範囲で作成させる | 調査計画書 |
| Feedback | 作成された計画書を発表させ、必要に応じてコメントす る | 発表 |



学習プロセス・ 事例3

<u>対象</u>

指導、育成担当者

学習テーマ

観察インタビューのスキル

| プロセス | インストラクション | ツール |
|----------|--|----------------------|
| Discover | メンバーが問題を起した状況で、どう行動するか考える | ケーススタディ |
| Know | 間接観察インタビューの枠組みを伝える、事実を聞く質 問を定義を伝える | インタビュースキル |
| Show | ケーススタディでの、話の進め方と話の進め方の表現 例を紹介する | ケーススタディ |
| Do | 話の進め方をもとに、自分の言葉で表現を考え、ロー ルプレイングを行なう | ロールプレイング準 備シート |
| Feedback | ロールプレイングの自分の振り返りと、周りからの フィードバックを行なう | ロールプレイング振 りかえりシート |



学習プロセス 事例4

<u>対象</u>

チームリーダー

学習テーマ

問題解決の考え方 チーム多様性の重要性に気づく

| プロセス | インストラクション | ツール |
|----------|------------------------|-----------|
| Discover | 電灯の下で探し物を探す人(メタファー)を話す | メタファー |
| Know | 人が問題解決で陥りがちな枠組みを伝える | 問題解決の罠 |
| Show | 多様なチームで問題解決した例を紹介する | 事例 |
| Do | ケーススタディで発散思考の演習を行なう | ケーススタディ |
| Feedback | 結果の振り返りと、フィードバックを行なう | フードバックシート |

Work 考えるワーク

先ほどのテーマで、ラーニングプロセスのうち、 参加者に「あなたのテーマ」の興味を高めるために Discover導入のワークのアイデアを考えましょう。

.

•

.



振り返り

これで、本日のラーニングクラスは終わります

本日 何が一番印象に残りましたか?

もっと、学びたい、知りたいと思ったことは何ですか?